

# 大塚倉庫のコネクティッドロジスティクス 【伝票統一化による物流の効率化】

2023年10月23日  
大塚倉庫株式会社

## デジタルトランスフォーメーション(物流DX)

データやデジタル技術を活用してビジネス環境の激変に対応

顧客や社会ニーズから製品やサービス、ビジネスモデルを変革し競争上の優位性を確立

ex.フィジカルインターネット、シェアリング・マッチング(現場の機会か・自動化)

## デジタルイゼーション

デジタル技術を活用しビジネスプロセスを変革

ex.自動発注、求車求貨、管理(納品実績を発注データの照合など)の自動化

## デジタイゼーション

今までアナログだった作業をシステム化

ex.請求書の電子化、紙書類のPDF化、ワークフローの導入、手書きの廃止

## アナログ

メーカーが指定する専用伝票の数  
25社⇒25種類

**時間をかけてアナログな実態を理解してもらった  
(物流業界に多く存在している“埋没コスト”の存在を説明)**

**伝票の回収・照合・仕分け・7年保管**

**伝票入力・発行作業・システム開発**

25社⇒25種類



 telesa-delivery

25社⇒1種類

※TSUNAGUTEの伝票運用効率化サービスを採用

# 伝票統一をきっかけに、様々な業務プロセスを変えてきた (標準化 → 統一化 → デジタル化 → データ連携)

## 専用プリンターの廃止

(個別作業の廃止)



## 事務作業の削減

(事務員の再配置)



メーカーから卸売まで標準化された仕組みで連携

## リターナブル

- ・パレットのレンタル化
- ・バラ箱のオリコン化とレンタル化
- ・その他資材関係

## オペレーションの 統一化

- ・リードタイムD2
- ・データ送受信時間
- ・その他納品条件

## データ連携

- ・GS1CD
- ・伝票電子化
- ・バース予約
- ・その他(CO2の可視化等)